

(別紙4(2

事業所名 グループホーム さくらの家

目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 1 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	開設時は、日常生活が出来て、共同生活が出来る事が入居条件で、昨今は看取りが加算され、推奨されているが、現状の職員体制で、夜間も夜勤者1人で9名の入居者をお世話する中で、職員の負担をどのように軽減していくかを検討していく。	看取りを経験し、職員の自信に繋げているので、看取りを実施する場合の条件や環境を整え、職員の負担を軽減し、職員一人ひとりの自覚と介護技術の向上を目指し、入居者や家族が安心してホームで暮らせる終末期の支援に取り組む。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。